

1 ツーブロック禁止の文言を消す。⇒ツーブロックを OK に。

2 中学生らしい髪型と表記が抽象的。してはいけない髪型のみを記載する

回答

- ・面接試験等にふさわしいと思う髪型にする。というような表記にすれば良いと思う。ただし、ラインの入ったような髪型などは禁止で良いと思います。
- ・ツーブロックをOKにしても良いが限度がある。そこをはっきりする。中学生らしい髪型と表記しているのは、生徒自らが考えるためにあえて表記してある。
- ・してはいけない髪型は抜け道を生んでいく可能性があります。(新しく作られた髪型など) そのため、してはいけない髪型の明記は難しいと思われます。ただ、ツーブロックは可など限定的に許可する形であれば良いのではと思います。新しい髪型が増えてきたときに新たに許可を求めて改正すべきだと思います。
- ・何が良くて、何がアウトかをはっきりさせたい気持ちは分かりますが、してはいけない髪型の明記は結局イタチごっこになるので難しいかなと思う。みんなが安心して過ごせる雰囲気的大事だと思うので、奇抜なヘアスタイルの乱立にならないのであれば、段階的にツーブロックを認めていくのはいいと思います。
- ・どのような髪型にするかは本人の自由だと思います。高校受験、就職試験などの時に適切な髪型で受けることとなります。基本的にその時の髪型が適切だと思います。また、以前の学校で頭髪について細かく記載しなくなり自由になったことで他の生徒が「怖い」と伝えてきたことがありました。やはり人がどのように感じるのかも考えて行動することが大切なのかなと思います。学校は公共の場ですので不快に感じる容姿にしないことはモラルだと思います
- ・ツーブロックの定義が個人の解釈になると様々な形が生まれてくると思われるので対応が難しくなるのでは？
- ・高校受験や面接を受けることができる髪型が基本なのではないかと思います。

3 授業中の給水・トイレについての文言がないため、先生からの許可を得た場合にのみ認めると文言を追加。

- ・社会一般のルールとして知ってほしい。わざわざ記載するのはどうだろうか。
- ・これは校則うんねんではなく、社会に出ても適応される不文律かなと思います。社会人で、人がスピーチをしているときに飲食をしてはいけないというマナーのようなものがありますので、それは校則があるからではなく、大人になるため知っておこうよという解釈で良いかなと思います。
- ・モラルの問題だと思います。トイレに関しては我慢するものでもなく自然の摂理です。許可を得て実施することは当然のことだと思います。あえて文言化する必要があるのかなと思います。
- ・良いと思います。

4 靴下を、白、紺、黒のワンポイントを可とする(くるぶしが隠れていないものは×)

- ・いいと思います。ただし、行事や式典の時はそろえた方が、統一感や儀式に対する礼儀が感じられると思います。
 - ・ワンポイントが入っている場所による
 - ・白、紺、黒で良いと思います。
- ワンポイントがどの程度なのか、どのマークなら可なのかをはっきりとしていた方が良いと思います。
- ・式などの際には白色にするなど統一する際に揃うことができると良いと思う。

5 不要物について具体的に記載する。 汗拭きシート(においの弱いもの)の持ち込みを許可

- ・汗拭きシートは、確実に散らかす人がいます。それが守れないようでは許可できない。
 - ・基本的に汗はタオルできちんと拭けば良いと思います。無香料ならよいのでは。
 - ・においがあるものは人によって敏感な人もいます。必要性は？ゴミ箱に多くの生徒が入れると匂いが充満する。
 - ・不要物を一つ一つ記載するとその都度変更の可能性が・・・
 - ・無香料のものである＋きちんと拭いた後のシートの処理を各自で責任を持って行うという2点が守られれば良いと思います。芳香剤のいろんなにおいがまざると気分が悪くなるので、無香料の徹底は生徒会にもお願いしたいです。
 - ・原則、OKです。ただ、経済的な理由で汗ふきシート等が買えない生徒のことも視野に入れた対応を考えてください。(汗ふきシートだけでなく購入物に関してはすべて) 生徒会費で準備することを検討してもいいのではないのでしょうか。
 - ・具体的な「不要物」を記載するときがないのでは…。汗拭きシートを持ってくる前に、「不衛生」というのであればわざわざ「ハンカチ爪チェック」が必要ないくらいハンカチをきちんと持参しなければならないと思います(爪ももちろん切る。長い人、多いですね)。汗拭きシートを使ったあとのゴミの処理も気になります。
 - ・「においの弱い」とありますが、「弱い」の定義はどこまでなのか、曖昧な部分があるのではないのでしょうか。
 - ・現在、不要物を無断で持ち込んでいる生徒がいることも事実です。
- まずは、自分たちの足元をしっかりと見つめ正して行くことをやってからの取り組みにした方が良いと思います。
- ・不要物が何かは、確認の必要があると思います。汗ふきシートについては、シートの匂いが苦手な人もいると思うので、拭いた後のシートを持ち帰る(学校のゴミ箱に捨てない)等ルールを明確にして、ルール違反があれば禁止にする等やってみてはどうでしょうか？
 - ・私のクラスでも、勝手ににおいつきのものを使用していた人がいました。においが弱いものであっても、敏感な子は、その後の授業にあまり集中できなかったようです。「においが弱いもの」だと人によってにおいの程度が変わるので、はっきりと「無香料のもの」とした方が良いと思います。
 - ・ごみのポイ捨てや、個人での貸し借りによるトラブル、教室や更衣室に匂いがこもってしまうことが考えられます。

6 日常生活、部活動の時のお団子ヘアを許可する(体育のときは元に戻す)

7 ヘアピンに関して、アメリカヘアピンのみではなく、日常生活でのパッチンピンの使用を許可。(体育のときは外す)

- ・体育科の先生の意見を優先したいと思います。
- ・ヘアピンをつけすぎたり、華美になったり、お金がかからないようにすべき。
- ・お団子ヘアは授業に支障がなければ(例：体育後にお団子ヘアにするため授業に遅れる 等) OK だと考えます。また、パッチンピンが便利で安全性に問題なければ、使用してよいと考えます。色は、黒限定ですか？
- ・髪型を変えるために場所をかまわず髪を触ることがなければ、良いと思います。現在も歩きながらクシで前髪触ったり、あちこちで髪をとくしたりする姿が見られるので。
- ・プールの後に制服が濡れる・透けることを防止するためのお団子ヘアは許可していただきたいです。

・日常生活と部活動をわけて考える必要性はないと思うので、お団子ヘア、ピンについては現状のままで良いと思う。

お団子ヘアもパッチンピンも、普段の生活から生徒はしているので、今一度ルールを生徒に明確化した方が良いでしょうと思います。体育の時は、部活の時はと区別すると、生徒も先生方も困惑すると思うので、統一した方が良いでしょうと思います。

・個人的には日常生活でお団子ヘアはしなくても良いと感じます。手間がかかるのでは？授業中に髪を直すときに集中できないのでは？部活の際は、良いでしょうと思います。

パッチンピンは提案の通りで良いでしょうと思います。

7 校則改正に向けた今後の動き

こちらのアンケートで先生方の意見を得た後、執行部で再度検討し、臨時総会を経て改正を行うという動きとなります。改正の動きに関してこうした方が良いでしょうなどご意見があれば何でも書きください。

・手順を踏まえていて、よいと思います。ベタスク会議の名前の由来をもっと周りに周知してほしいです。(今後も使っていくのであれば)

・忌憚のない意見が多く出ており素晴らしいです。こうすべきだと思ったことは必ず入っていこう。問題があればともに考えていきたいです。

・先生方にも会議にて議論してもらう必要があると思います。

・今回の先生方の回答は、あくまで先生方個人の考えになるかと思います。職員会議等で決定した「教職員の総意」ではないので、誤解がないようにしてもらえると嬉しいです。

また、生徒、先生が認めたとしても、保護者の意見を聞かないで校則を改正することも難しいと考えます。保護者の多数決で決めるというようなことはしたくありませんが、最後にもう一つハードルがあると思っておいってください。

いろいろ書きましたが、皆さんが校則改正をはじめ日々の生徒会活動に誠実かつ主体的に取り組んでいる姿は本当に素晴らしいですし、誇りに思います！応援しています。

・いろいろと検討を重ねて、提案してくれたことと思います。校則改正にあたって、まずは現在の校則が守れている上で、それでも学校生活に支障を来したり、改善した方がよいということについて、改正に前向きに考えてよいと思います。そこについて、生徒会では現状をどう見ているのかな、と感じました。

・「こうしたい」の動きは気持ち的に理解できます。より良いものにしていくために議論することはとても大事です。しかし、今の大津中学校の現状を正しく見ていく事も大切なことだと思います。不要物の件にも書きましたが、自分たちの都合で動いている人が多くいることも事実です。分からなければいい、見つからなければいいという自己中心的な考えで行動している生徒も多くいます。現状を見つめ、まずはそんな現状を正して行く努力をすることが先決のような気がします。不要物、髪型、ヘアピンなどこのまま改正するには心配する部分が多くあります。

・全校生徒に広く周知し、議論する場があってもよいかと思います。意見を集約してみては？

みんなに「見てください」と伝えていても、意識の差が大きいように思いますので。

・今回のような先生と生徒の意見の交流ができる場所があると内容を精査できると感じた。否定ではなく何でもそれを行う必要があるのか等を考える機会にできると感じた。